

美味しい水・美味しい空気!



品川様ご一家 (ご夫婦30代・お子様4歳・1歳)

Q. 移住したきっかけは?

A. 畑ができる場所を探していて、清川村の地域おこし協力隊募集の案内を見つけ、移住してきました。

Q. 住んでみて良かったこと、不便を感じたことは?

A. 良かったことは人とのつながりが強く、挨拶をしあえること。不便なところは新鮮食品などは車で走らないと選択肢が少ないですが、車がなければ問題ないと思います。

Q. お店について教えてください

A. 清川村の地場産食材を使ったイタリア料理のお店です。

Q. 清川村へ移住を考えている人へのアドバイス

A. 昼も夜も基本的には静かで、時間の流れがゆっくり感じられる場所です。地域の方々とつながりを大事にゆったりと生活できる場所だと思います。

清川村の特産品が出来ました!



松田桂一さん (清川ミートファクトリー)

Q. 移住したきっかけは?

A. 結婚前に田舎暮らしをしていたことがきっかけで、結婚を機に村へ移住しました。お互いの実家から約1時間、自然が多く、お互いの希望や環境が一致したのが清川でした。通勤先は都内ですが、新東名が出来たこともきっかけの一つです。

Q. 住んでみて良かったこと、不便を感じたことは?

A. 朝が良いです。早朝のキャンプ場のような香りが好きです。また、水がおいしいのもいいです。車がないと生活はできませんが、車に乗ってしまえば30分圏内に大きな公園がたくさんあるので、いろいろな公園に行けるのもいいです。不便な点は病院が少ないこと、車がないと生活できないことです。ペーパードライバーだったので最初は運転をすることがストレスでした。

Q. 子育てや教育環境への満足度を教えてください

A. 月々の補助金が非常に助かっています。

Q. 清川村へ移住を考えている人へのアドバイス

A. 自然を感じたい方にはお勧めの場所です。最初は「村」というイメージでは遠いと感じましたが、慣れればとても住みやすいところです。

繋がりを感じ、のんびり生活♪



稲葉智美さん (四季-Quattro-店主)

Q. 移住したきっかけは?

A. 趣味のフライフィッシングを楽しむ為若い頃から丹沢の渓流に通っており、清川村には馴染みを感じておりました。会社を早期退職した後、清川村で「地域おこし協力隊」の募集があり、応募したところ採用となったので、東京より単身移住して地域おこしの活動を行っておりました。

Q. 住んでみて良かったこと、不便を感じたことは?

A. 菜の花、桜、お茶畑、そして新緑と紫陽花、紅葉に雪景色と、いち早く四季を感じられる中で生活は都心では味わえない良さだと感じます。車がなければ生活や行動の幅も広がると感じます。

Q. お仕事について教えてください

A. 地域おこし協力隊として活動中に村のブランド豚「清川恵水(めぐみ)ポーク」を村の特産品になる様、ソーセージやベーコンなど食肉加工の開発に携わり、協力隊退任後は、食肉加工品の製造販売「清川ミートファクトリー」を起業し「道の駅 清川」などで、商品を清川村の特産品として販売しております。

Q. 清川村へ移住を考えている人へのアドバイス

A. 山・川・湖と豊かな自然に囲まれた場所での生活は、雑踏に影響されず、必要なモノだけを取り入れることが出来、時間を有効に使え、心が豊かになる場所です。

Feel The Kiyokawa Village Life

移住者インタビュー

清川村へ移住された方々にインタビュー。移り住んだきっかけや、清川村の良いところを聞きました。

安心して子育てができる環境



小杉様ご一家 (ご夫婦30代・お子様3歳・2歳・0歳)

Q. 移住したきっかけは?

A. 自然がとにかく好きで、妻の生まれ育った村で子育てをしたかったのがきっかけです。住む環境としてはとても静かで、落ち着けるところがよかったです。引っ越してくる前も清川は身近で、小学校の時はダム見学にも行きましたし、クリスマスのイルミネーションも見に行っていました。

Q. 住んでみて良かったこと、不便を感じたことは?

A. とにかく自然が多いことです。四季折々の風景や気候を感じる事ができて、とてもいいです。クリエイトができたことで更に便利になりました。不便な点は交通の便が悪いところですが、その点を踏まえても、清川の良さが勝ります。

Q. 子育てや教育環境への満足度を教えてください

A. 子育ての支援が豊富なことです。新生児訪問とは別に、産後ケアや気軽に相談できる場所がもっとあると嬉しいです。

Q. 清川村へ移住を考えている人へのアドバイス

A. 通勤が片道20分くらい長くなりましたが、それに勝る自然の良さがあります。自然が好きならにはとてもおすすめです。

Q. 移住したきっかけは?

A. 妻の実家が村内であったことです。実家の近くにプレミアムが出来たこともきっかけの一つです。プレミアムは夕方になると子どもたちが遊んでいる風景が見られ、子どもが同世代の方も多かったです。

Q. 住んでみて良かったこと、不便を感じたことは?

A. 公園で友達に会うと、「みんなが友達」という感覚で遊んでいるのがよかったです。車がないと生活できませんが、住んでしまえば不便さは感じません。近くにクリエイトもあるので困ったことはありません。

Q. 子育てや教育環境への満足度を教えてください

A. 以前住んでいたところでは、毎日保健師の方が在駐している子どもの遊び場がありました。清川は週一回程度なので、そういった環境がもっと充実してくれるとありがたいです。子どもの補助金や出産祝金は本当に嬉しかったです。下の子が生まれましたが、コロナ前のような交流が少なくなりましたことが残念です。

Q. 清川村へ移住を考えている人へのアドバイス

A. 夜はとても静かで、自然豊かで住みやすいです。川、山、自然で遊べます。クリエイトも道の駅もありますし、不便ではないです。初めて「村」って聞いた時は驚きましたが、思うほど不便ではないと感じました。

自然豊かで住みやすいです♪



石井様ご一家 (ご夫婦30代・お子様4歳・2歳)

Feel The Kiyokawa Village Life



運動会や盆踊りなど、地域の人々の交流の場となるイベントも多い。



清川村で暮らすママたちに聞きました!

「首都圏の村暮らしは嬉しいことがいっぱい!」

移住というイメージがあるが、清川村は首都圏にいながら田舎暮らしができてしまう特別な地域。お隣の厚木市に車で20〜30分の距離なので毎日の生活の中で不便を感じることは少なく、横浜市までなら車で片道60分程度なので転職せずとも田舎暮らしの良さを体感

できる。清川村の環境の良さや暮らしやすさにひかれて、近隣の都市からの移住者が増えつつある。また、村ではこれからも移住者促進に力を入れていく予定だ。「田舎暮らしには憧れるけど、今すぐは難しいかも」という人も、清川村なら夢が叶えられるかもしれない。

子育て等の支援が充実しているの、子育てしている身としては本当にありがたいです。

自然の中で思い切り走り、水遊びを楽しみ、とれたての野菜を食べる。子どもがイキイキとしています。

夏に家族で行く谷太郎川の清流はとても綺麗で、子どもたちのお気に入りの遊び場です。

気さくに話しかけてくれたり、親切に色々教えてくれたり、人の温かさをたくさん感じます。

やはり水がおいしいのは魅力! 水道水がとても美味しくて、子どもたちもごくごく飲んでいます。

自然豊かで野鳥が庭に遊びに来たり、猿や鹿などの野生の動物に出会うこともしばしば。

子育て世代に嬉しい村営住宅が登場

豊かな自然の中に、子育て世代向けの村営住宅を新たに整備。「プレミアムル中根」は幼稚園、保育園、小・中学校が近く便利な立地。庭付きメゾネットタイプの2LDKで75㎡と十分な広さがあり、駐車スペースのほか、屋外コミュニティスペースもある。また、家族の顔が見える「ミニキッチン」を大事にした間取りや子どもの安心・安全にも配慮した子育て世代に嬉しい住宅となっている。また、短期で入居できる移住体験住宅も用意している。



村営住宅の家賃は、月額5万円〜(所得に応じて変動)。申込み時には清川村の住民でなくとも、移住希望者であれば応募できる。



「生涯学習センター せせらぎ館」の図書館は地元の子どもたちに大人気の施設。



教育施設や子育て支援・補助制度も充実

清川村では「住んでみたい・住み続けたい村づくり」を進めていて、子育て支援・補助制度をたくさん行っている。こちらは清川村に住む子育て世代の人たちが「本当に助かっています!」と、口を揃えるほどの充実ぶり。また、図書館や小ホール、コミュニティ施設等からなる「生涯学習センター せせらぎ館」など老若男女が気軽に集い利用できる施設も充実。管理が行き届いているのでいつも綺麗で過ごしやすくと人気の場所だ。

子育て支援・補助制度

国立幼稚園・認可保育所

認可保育所「あおぞら保育園」がある。また、「国立清川幼稚園」は保育料が無料。

高校・大学等通学費補助

小田急線本厚木駅(最寄駅)までのバス定期券購入代の半額を補助。

小・中学校入学祝い金

小・中学校入学時に祝い金として3万円を贈呈。

きよかわっ子誕生祝い金

清川村で生まれた子どもの成長発達支援のために、出産祝い金を1人につき10万円贈呈。

学校給食

村内の幼稚園、小学校、中学校では毎日給食がある。(幼稚園は無料)

通学用自転車購入費補助

高校等への通学に使用する自転車の購入に対して上限2万円を補助。

小児医療費助成

通院は中学卒業まで、入院は高校卒業まで無料。

おむつ等購入費助成

育児支援として、小児用おむつ、おしりふきなどの購入に対して2歳半まで月額4,500円を助成。

